

合格者の皆さんへ

学長 焼廣 益秀

皆さん、本学への合格、おめでとうございます。

きっと新たな生活に対して、期待と不安が入り混じっていることと思います。

そんな皆さんにご入学までに本学について少しお伝えしたいことがあります。

<本学のデジタル活用>

本学ではコロナ禍前から CoursePower というインターネットを使って教員から教材を提示したり、学生さんの意見を収集したりできるシステムを使用しておりましたが、コロナ禍となり一気に活用が広がっております。双方向オンライン授業では、Zoom や Microsoft Teams の様なオンライン会議システムを利用した双方向オンライン授業や、録画した授業を見て自分のペースで学習できるオンデマンド授業も行われています。

現在、多くの大学が「ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)」を定めていますが、これは卒業時に学生さんがどのような能力を身につけているのか、を示したもので、本学では5つの項目で示しています(https://www.hirokoku-u.ac.jp/profile/outline/diploma_p/diploma_p_2020.html)。ただ、学生さんにわかりやすく示すことができるシステムを模索しておりましたが、皆さんが入学する 2022 年度からはアセスメントというシステムの導入を決め、教職員の研修を始めたところです。学生さんにとっては、自身の学修成果をわかりやすく把握することができるようになるため、学修意欲の高まりや、「学ぶのが楽しくなる」につながることを期待しています。

コロナ禍で明らかになった日本のデジタル化の遅れですが、本学では積極的に教育にデジタルを活用していきます。デジタルネイティブとも言われる若い皆さんには、我々が思ってもいないような活用法があるかもしれません。入学前でも、入学後でも、こんな活用法はどうか、という提案があれば、是非大学へ伝えてほしいと思います。一緒に考えていきましょう。

<交流と連携>

本学は「ともにしあわせになる学び舎」という将来像を掲げています。ここでの「しあわせ」は、「収入が増える」のような長続きしない「しあわせ」ではなく、「いい人間関係ができていく」というような長続きする「しあわせ」で、健康にもつながるものです。本学は、学生さんの社会貢献活動や地域連携活動など地域の方との「交流と連携」を奨励していますが、これは学生さんに、学んだことを実践の場で活かし身につけてもらいたい、実践の場から気づくことを学びにつなげてもらいたい、そして学生さんや学生さんと交流のあった人々が「しあわせ」になってもらいたい、という思いからです。

本学では、2018 年の開学 20 周年記念事業として、建物の新築やグランド整備など、大規模なキャンパス整備を行いました。この際のキーワードも「交流と連携」です。現状ではコロナ禍のために大きく制限されていますが、2022 年度からは、オンラインも活用しながら、これらの施設をさらに活用して「交流や連携」を進めていければと思っています。

ところで、本学を設置している常翔学園は 2022 年 10 月 30 日に創立 100 周年を迎えます。その 5 ヶ月後には本学の 25 周年となります。そこで、2022 年は常翔学園創立 100 周年と本学開学 25 周年を記念して、皆さんはもちろんですが、地域の方も巻き込んだスポーツイベント等を実施したいと考えております。楽しみにしててください。

<学び続けてください>

皆さんは、進路先が決まったからといって、高校での勉強をおろそかにはしないでください。学んだことは、急速に変化する社会のなか、長い人生のどこかのタイミングで、皆さんの生活を豊かにし、選択に幅を与えます。また、「大学の先生に良く思ってもらいたい」「大学に入学してから少しでも楽したい」「やれと言われたから」、どんな動機でも構いませんので、本学が紹介する「入学前教育」に取り組んでほしいと思います。まず、行動すること、それが、人間が本来もっている「知識欲」を刺激し、さらなる「やる気」にもつながっていきます。

<終わりに>

現状では落ち着いている新型コロナウイルス感染症ですが、冬を迎え再び拡大することが懸念されています。皆さんも、しっかりと感染予防に向けた行動をとり、一日も早く収束させていきましょう。

教職員一同、皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

<キャンパス紹介>

【東広島キャンパス全天候型陸上競技場】





【ローズガーデンは「みんな」が集い、憩い、交流できるやすらぎの空間です】



【広々とした呉キャンパス3号館（教育会館）と陽だまりカフェ】

